

公表 保育所等訪問支援事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2025年 7月 1日		～ 2025年 8月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	97	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2025年 8月 1日		～ 2025年 8月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○訪問先施設評価実施期間	2025年 8月 29日		～ 2025年 10月 14日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援を提供していること。	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容を設定しています。	訪問支援と直接支援の担当職員が異なる場合は、直接支援員の意見を聞いて作成しています。
2	ご利用者様が事業所の支援に満足していること。	保護者から訪問の内容等の希望について、個別に聞き取り対応しています。また、事前に訪問先の責任者や担当者との協議の場を持ち、先方の意向を聴き、必要事項を確認するようにしています。	訪問の報告は、依頼された困りごとに対しての状況説明だけでなく、子どもが輝いていたこと、楽しんでいただいていたことなども積極的に画像や文書で伝えるよう努めています。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	第三者による外部評価を行っていないこと。	大阪市の専門療育という事業所の性質上、3年に1回外部評価は実施されているが、現場支援員まで情報伝達できていない。	評価結果を基に業務改善に努めていることを管理者のみでなく、現場職員全員に周知していく必要がある。
2			
3			